



前田バルブ工業株式会社

会社案内



2024年4月1日

【特集記事 1】 MAEDA VALVE×SDGs

「SDGs（エスディージーズ）」とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月に国連で採択された国際社会共通の目標です。世界を変える持続可能な開発目標は、“2030年までに達成すべき17の目標と169のtarget（具体目標）”を掲げており、前田バルブ工業株式会社のSDGsへの取り組みを紹介いたします。



SDGs 達成に向けた新たな挑戦 2021年2月～

前田バルブ工業株式会社は、1956年の創業より給水装置の総合メーカーとして水道ライフラインに関わってきました。SDGsという新たな国際環境の枠組みの中で、事業内容と特に親和性の高い4つの目標をターゲットを宣言しSDGsに寄与していきます。

1. すべての人々に水への持続可能なアクセスを確保する

国内のみならず海外での水道が日常的でかつ安全性の高いライフラインになるための貢献を実施します。

- ・鉛レス銅合金の活用など健康を意識した製品提供
- ・安定した水道維持、強靱な水道管路の実現、災害時でも水道へのアクセス
- ・ODAの受託
- ・公共性の高い事業としての責任



2. 青銅製は循環可能(リサイクル可能)な資源である

銅は貴重な資源であり脱炭素社会の実現に寄与しています。

- ・ 使用後の再資源化(リサイクル)が容易で業界としての取り組み、啓蒙活動
- ・ 製造不良鋳物の社内循環資源化による廃棄ロスゼロの維持
- ・ 簡易梱包による廃棄物の削減



3. 働きやすい職場を実現する

当社で働く誰もが働きやすい職場づくり、ワークライフバランスに取り組めます。

- ・ 高い有給休暇取得率と残業時間の短縮の実現
- ・ 健康的な人財を作るための健康経営の実現
- ・ 男女、年齢、国籍、障害の有無を問わず、安心して働ける職場環境の整備
- ・ 人間尊重を基本とした、多様性、ダイバーシティへの理解と意識改革



4. 高品質で安定生産の実現

水道に関わるメーカーとしての製造責任を追究して参ります。

- ・ 耐震性が高い製品の開発による安定した水道管路の実現
- ・ 納期遅延や不具合のない製品納入への新しい取り組み
- ・ 最新設備で 3M(ムリ・ムダ・ムラ)の防止による安定製造の計画



【特集記事 2】健康経営への取り組み

前田バルブ工業株式会社は、経済産業省が提唱する「健康的に働ける職場が多くなることで、多くの社会人が安心して働き生活できる環境が生まれ、結果的に日本全体の活力の向上にもつながる」に賛同し、以前より健康経営に取り組みを進めておりました。2023年度からは、健康経営優良法人に認定され、働く人の健康への幸福を提供しております。

健康経営優良法人とは、日本健康会議によって「優良な健康経営を実践している企業である」と認定された法人のことを指します。

企業全体で働く人の健康をサポートするという取り組みで、働く人が健康的に働けるようになることで、一人ひとりのモチベーションが向上し、企業全体の労働生産性がアップにつながっております。



具体的な取り組みのご紹介（一例）

産業医との契約

働く人は、いつでも健康について相談できるお医者さんと契約しております。

定期健診の実施

正社員はもちろんパートの方々まで、年に1回健康診断を受けることを義務付けております。本社地区は、移動検診医療を契約しており、会社に居ながら心電図や採血などが可能です。年齢によってがん検診など法令以上の様々なメニューを用意しております。出先営業所等は業務時間中に契約の医療機関への受診で対応しております。オプション以外費用は全額会社負担です。

分煙の徹底

喫煙所は屋外にあり、嫌煙者（けんえんか）と分離を徹底しております。一方で喫煙者も安心して息抜きできる工夫もある一方、本数を減らすなどの努力は指示しております。

有給取得率の向上

土曜日出勤を月1回程度を実現する一方、有給休暇を平均で年間10日を超える高取得率を実現しています。プライベートの豊かさも健康への配慮と考えており、企業全体の労働生産性がアップにつながるものと考えております。当日欠勤でも有給休暇を充てることができます。

▶ **社 是** 創業より

和の精神を忘れずに、誠心誠意努力し、無形の信用を大きく育てよう

▶ **経営理念** 創業より

感心 ・ 感動 ・ 感謝

▶ **五つの基本** H17(2005).11

- 私たちは個人の自発性を敬い、意思ある主張を尊重します。
- 私たちは豊かなコミュニケーションを敬い、暗黙の了解に価値をおきません。
- 私たちはメーカーとしての責務を敬い、安全で快適な製品を作りあげます。
- 私たちは顧客の視点を敬い、品質・納期・価格の適正バランスを自ら追及します。
- 私たちは BASIC を敬い、柔軟に手段の変更を行います。

※BASIC とは前田バルブ工業株式会社の基本項目と姿勢の書かれた小冊子です。

ISO9001

ISO14001

認証取得工場

愛知ブランド企業認定

名古屋市エコ事業所認定

健康経営優良法人認定

》 会社概要

商号	前田バルブ工業株式会社
所在地	〒455-0027 名古屋市港区船見町 29 番 1 Tel : 052-618-3800 Fax : 052-618-3801
代表者	前田 康雄
創業	昭和 21 (1946) 年 6 月 25 日
設立	昭和 31 (1956) 年 12 月 20 日
資本金	1 億円
業種	水道用バルブおよび継手製造販売 防災設備、消防設備の製造販売、点検及び施工
取引銀行	(株)商工組合中央金庫 名古屋支店 (株)三菱 UFJ 銀行 熱田支店 (株)りそな銀行 名古屋支店 (株)愛知銀行 柴田支店 (株)中京銀行 柴田中央支店 (株)名古屋銀行 六番町支店 岡崎信用金庫 中川支店
主な商品	青銅鉛フリー (レス材) 鋳物・加工品 埋設用給水装置 サドル付分水栓、継手各種、止水栓 ホームスプリンクラーシステム

環境マネジメントシステム

ISO14001

認証機関 インターテック・サーティフィケーション(株)

登録番号 09311

登録範囲 水道用の分水栓、止水栓、弁類、継手類及びスプリン
クラーシステムの設計・開発及び製造に関する事業活動**品質マネジメントシステム**

ISO9001

認証機関 インターテック・サーティフィケーション(株)

登録番号 09310

登録範囲 水道用の分水栓、止水栓、弁類、継手類及びスプリン
クラーシステムの設計・開発及び製造に関する事業活動**名古屋市認定エコ事業所**

認定番号 第00561号 特別賞受賞

愛知ブランド企業認定

認定番号 401

公益社団法人日本水道協会(JWWA) 検査工場

登録番号 第D-26号

登録品 弁類、栓類、継手類

給水用品の第三者認証登録

認証機関 公益社団法人日本水道協会

品質認証センター (第三者認証機関)

登録品 【給水用具】 バルブ類、逆流防止装置、継手類、
メーターユニット類、その他

【ユニット製品】 配管ユニット

名古屋市上下水道局指定給水装置工事業者 指定登録

指定機関 名古屋市上下水道局

認定番号 第1160号

登録支援機関

認定機関 法務省

登録番号 20登-004593 (登録日 2020年6月18日)

事業継続力強化計画

認定機関 中部経済産業局

登録番号 2021中部継強単認第344号

事業所

本社営業所

〒455-0027 名古屋市港区船見町 29 番 1
Tel : 052-618-3800 Fax : 052-618-3801

札幌営業所

〒007-0836 札幌市東区北三十六条東 15 丁目 1 番 1 号
Tel : 011-742-2275 Fax : 011-742-3232

岡山営業所

〒700-0941 岡山市北区青江五丁目 22-31 (丸山ビル 201)
Tel : 086-230-0763 Fax : 086-230-0764

九州営業所

〒812-0857 福岡市博多区西月隈三丁目 3 番 66 号
Tel : 092-474-8818 Fax : 092-474-8824

港工場

〒455-0027 名古屋市港区船見町 29 番 1
Tel : 052-618-3811 Fax : 052-618-3812

関連会社

株式会社ヒオケス

〒455-0027 名古屋市港区船見町 29 番 1

加入団体

公益社団法人日本水道協会
全国簡易水道協議会
一般社団法人日本バルブ工業会
給水システム協会
日本ポリエチレンパイプシステム協会
名古屋水栓バルブ工業協同組合
一般社団法人全国消防機器協会
一般社団法人日本消火装置工業会

社章	
ロゴ	前田バルブ工業株式会社 ™
ブランドロゴ (カラー・モノクロ)	MAEDA VALVE ® MAEDA VALVE®

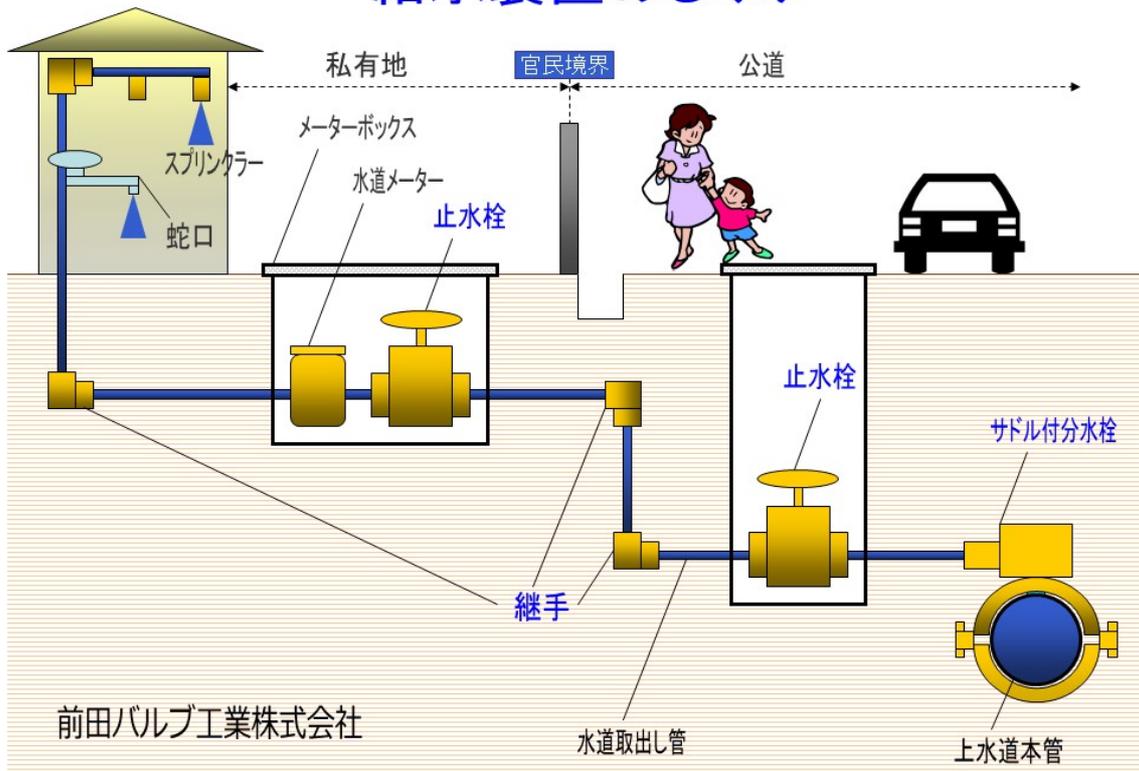
》 沿革

昭和 21(1946)年 6月	名古屋市中川区東起町 4-18 に前田バルブ工業所を創業
昭和 31(1956)年 12月	前田バルブ工業株式会社に組織変更 初代表取締役役に前田宣一が就任 資本金 150 万円
昭和 42(1967)年 10月	社団法人日本水道協会検査工場となる
昭和 44(1969)年 11月	資本金 600 万円に増資 新工場建設、名古屋市中川区東起町 3-48 に移転
昭和 47(1972)年 10月	資本金 1,800 万円に増資
昭和 49(1974)年 4月	本社社屋建設、本社を名古屋市中川区東起町 3-48 に移転
昭和 50(1975)年 7月	資本金 4,100 万円に増資
昭和 51(1976)年 2月	九州営業所を開設（福岡市博多区）
昭和 51(1976)年 11月	資本金 8,280 万円に増資
昭和 51(1979)年 11月	機械工場、名古屋市中川区東起町 4-139 に新設
昭和 57(1982)年 11月	九州営業所を移転（福岡市博多区）
昭和 58(1983)年 8月	鋳造工場建設、名古屋市中川区東起町 1-74 に移転
昭和 60(1985)年 4月	札幌営業所を開設（札幌市中央区）
昭和 60(1985)年 11月	資本金 1 億 2,420 万円に増資
平成 5(1993)年 5月	米国フォードメーターボックス社と契約し修理用クランプの発売開始
平成 5(1993)年 10月	立体倉庫、本社工場に建設
平成 5(1993)年 12月	機械工場、名古屋市中川区東起町 3-9 に移転
平成 6(1994)年 3月	代表取締役に前田康雄が就任
平成 9(1997)年 7月	社団法人日本水道協会の品質認証センターに登録
平成 9(1997)年 10月	厚生省（現、厚生労働省）給水装置データベースの 基準適合品データベースに登録
平成 9(1997)年 11月	札幌営業所を移転（札幌市東区）
平成 12(2000)年 8月	九州営業所を移転（福岡市博多区）
平成 13(2001)年 1月	第 1 回私募債を発行、(株)東京三菱銀行（現、(株)三菱 UFJ 銀行）が受託
平成 13(2001)年 1月	第 2 回私募債を発行、(株)愛知銀行が受託
平成 13(2001)年 3月	決算期 11 月から 3 月に変更
平成 14(2002)年 2月	N P b 自動表面処理装置導入（鉛溶出低減技術装置）
平成 14(2002)年 3月	品質マネジメントシステム JISQ9001:2000/ISO9001:2000 認証取得
平成 15(2003)年 11月	環境マネジメントシステム JISQ14001:1996/ISO14001:1996 認証取得
平成 15(2003)年 12月	本社・本社工場 名古屋市中工事業所の認定取得

平成 16(2004)年 8月	資本金 1 億円に減資
平成 17(2005)年 1月	港工場、名古屋市港区船見町 29 番 1 に竣工
平成 17(2005)年 2月	第 3 回私募債を発行、(株)中京銀行が受託
平成 17(2005)年 3月	第 4 回私募債を発行、(株)愛知銀行が受託
平成 17(2005)年 12月	港工場、環境マネジメントシステム JISQ14001:1996/ISO14001:1996 認証取得
平成 18(2006)年 1月	港工場、品質マネジメントシステム JISQ9001:2000/ISO9001:2000 認証取得
平成 18(2006)年 2月	環境マネジメントシステム JISQ14001:2004/ISO14001:2004 へ移行認証取得
平成 18(2006)年 2月	港工場 名古屋市工コ事業所の認定取得
平成 19(2007)年 9月	本社機能を港工場内に移転
平成 19(2007)年 9月	本社営業所を開設 (名古屋市港区)
平成 20(2008)年 1月	本社を名古屋市港区船見町 29 番 1 に移転
平成 20(2008)年 2月	愛知ブランド企業の認定取得
平成 20(2008)年 2月	第 1 回名古屋市工コ事業所特別賞を受賞
平成 20(2008)年 8月	防災事業部を開設
平成 22(2010)年 2月	名古屋市上下水道局指定給水装置工事業者に指定登録
平成 23(2011)年 11月	日本初の住宅に特化した住宅用火災警報器と連動するスプリンクラーを発売
平成 24(2012)年 8月	拠点間テレビ電話会議を導入
平成 25(2013)年 7月	日本消防設備安全センター初の住宅用スプリンクラーの推奨を受ける
平成 25(2013)年 10月	経済産業省「平成 24 年度ものづくり補助金」の採択を受ける
平成 26(2014)年 9月	経済産業省「平成 25 年度ものづくり補助金」の採択を受ける
平成 27(2015)年 6月	日本政府 30 年ぶりのミャンマー向け水道無償 ODA を当社と戸田建設(株)が受注
平成 29(2017)年 2月	ミャンマーザガイン市とパートナーシップ協定を締結
平成 31(2018)年 1月	スプリンクラーシステム設置累計 500 棟達成
令和 2(2020)年 6月	代表取締役副社長に前田崇統が就任
令和 2(2020)年 6月	法務省 登録支援機関に登録(20 登-004593)
令和 2(2020)年 7月	経済産業省「IT 導入補助金 2020」の採択を受ける
令和 3(2021)年 2月	国連「SGDs」の自社目標を定め宣言する
令和 3(2021)年 3月	中部経済産業局「事業継続力強化計画」の認定を受ける
令和 3(2021)年 5月	経済産業省「令和元年度ものづくり補助金」の採択を受ける
令和 3(2021)年 10月	岡山営業所を開設 (岡山市北区)
令和 4(2022)年 10月	イスラエル プラッソン社と契約しユニバーサルジョイントの発売開始
令和 5(2023)年 3月	経済産業省「健康経営優良法人 2023」の認定を受ける
令和 5(2023)年 8月	株式会社ヒオケス設立 (2023 年 8 月 1 日設立)

》商品の主なラインナップ (写真は一例です)

給水装置のしくみ



サドル付分水栓

協会型サドル付分水栓 シリーズ	A形（ボール式） B形（コック式）
前田型サドル付分水栓 シリーズ	A形（ボール式） B形（コック式） P形（JP ポリジョイント継手形）（ボール式） S形（OP ポリジョイント継手形）（ボール式） W形（塩ビ管継手形）（コック式）
	水道配水用ポリエチレン管用
	ショートフレキ型
防食コア	密着コア W
サドル付分水栓用穿孔機	
簡易型塩ビ管用穿孔ドリル	ハンディードリル



止水栓

こま式止水栓 シリーズ	甲形 メータ直結伸縮形 メータ直結固定式 開閉防止形
ボール止水栓 シリーズ	甲形 メータ直結伸縮形 メータ直結固定形 開閉防止形
副弁付止水栓	ツインバルブ
メータユニット	



逆止弁

逆流防止機能付止水栓 シリーズ	バックレス ベストップバルブ
逆流防止弁 シリーズ	カレントバルブ ノンバック
	チャッキパッキン



仕切弁

仕切弁 シリーズ	フラットバルブ 青銅仕切弁
-------------	------------------



空気弁

小型空気弁(MV-AV)	エアーマン
--------------	-------



継手

水道用ポリエチレン管用 金属継手シリーズ	JP/JPW ポリジョイント(インコア打込み型)
	GFP ポリジョイント (インコア内蔵型)
	OP/OPW ポリジョイント(ワンタッチ型)
塩ビ管用伸縮ユニオン継手	V エース
塩ビ管用伸縮可撓継手	トータス
伸縮メータユニオン継手	
ユニバーサルジョイント	異種管接合&漏水補修継手の決定版!
フレキシブル継手	
メタリングパッキン	
接合継手	



|| その他

メーターユニット	
応急給水栓	
食品衛生適合ホース	
修理クランプ シリーズ	前田式リペアクランプ
	リペアクランプ
	ラップクランプ スナップクランプ
埋設表示ピン	キャッツアイ
止水栓上部閉栓キャップ	

|| ホームスプリンクラーシステム（乾式）

近年の防災意識の高まりから一般住宅、工場、テナント、事務所、幼児施設の任意設置の建物やグループホームをはじめとする義務化された小規模福祉施設などに急速に普及しております。

当社では平成17年より水道管と直結したスプリンクラーの販売を開始して以来、スプリンクラーの性能向上はもちろん、確実な工事（施工）ができるような商品改良をしております。

SP-DRY システム(乾式)

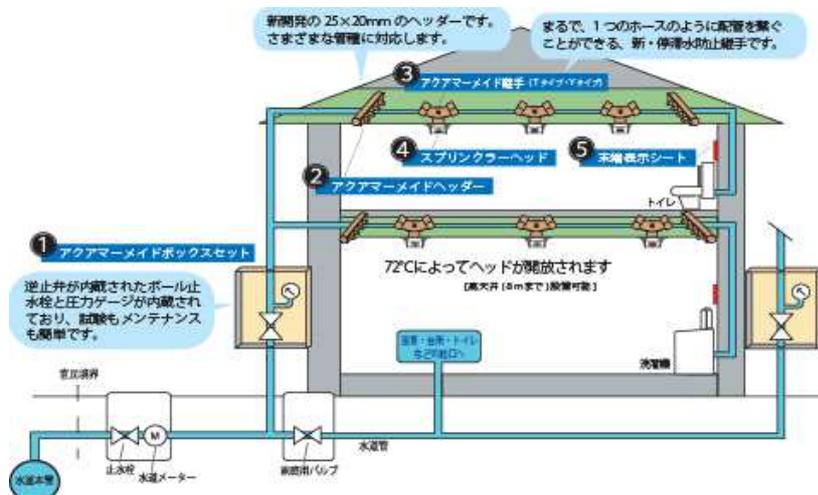
一般住宅、工場、テナント、事務所、幼児施設の任意設置の建物用



アクアマーマイドシステム(湿式)

グループホーム、一般住宅用

トイレや洗濯機の給水配管を天井に回し、その途中にスプリンクラーヘッドを取り付けたシステムです。スプリンクラーの性能だけでなく当社ではヘッダーバイパス工法のシステムを開発し、気になるとされていたトイレや洗濯機の流水音も減らすこと、かつより多くの水を送るために外面シールの継手を採用するなどこだわりのある水道直結型スプリンクラーです。



》 企業理念

当社では2002年3月に全社範囲で品質マネジメントシステムを認証取得して以来、続けて環境マネジメントシステム認証取得・名古屋市エコ事業所認定など、資源生産性の向上と企業成長が両立する品質環境経営を目指して推進しております。

私たちは、自主的な取り組みを基本とし、常に全社（全社員）における意識の確立とPDCAサイクルの効率的な管理を努めてまいります。

● 品質方針 H29(2017).7.13

前田バルブ工業株式会社は、品質第一を基本として、顧客などの要求事項に応える為、以下の事項を定め実施する。

1. より良い製品をより安く作る生産体制を整備し、顧客に満足を提供する。
2. 顧客の要求事項を含む要求事項への適合を確実にし、品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を推進する
3. 各部門・部署が達成すべき年度品質目標を設定して明示し、レビューする。
4. 常に前進、常に改革、現状維持は衰退である。

● 環境方針 H29(2017).7.13

前田バルブ工業株式会社は水道関連部品の設計・製作を通して、以下の方針に基づき環境マネジメントシステムを構築し、積極的に環境管理を実施する。

1. 人にやさしく、地球にやさしい環境保全が人類共通の重要課題と認識し、環境汚染の予防を推進する。
2. 地域社会の良き企業市民として社会的責任の重要性を認識し、環境関連法規、規則、同意するその他の要求事項を順守すると共に、可能な限り環境改善に寄与できる自主基準を設け管理する。
3. 事業活動において、資源・エネルギーの消費量と各種廃棄物の相当量の排出により環境に著しい影響を与えていることを認識し、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - (1) 健康維持のための鉛フリー材使用
 - (2) 省エネルギー化のための電力使用の削減
 - (3) 省資源化のためのリターン材の優先活用
 - (4) 省資源化のためのエコ対応設計
4. この環境方針にそって環境目的及び目標を設定し、全部門、全従業員が一丸となって環境管理活動を推進すると共に、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。
5. この環境方針は、従業員及び当社で働く人又は当社の為に働く全ての人に周知させるとともに 社外に公開する。
6. 常に前進、常に改革、現状維持は衰退である。

》 講演会

前田バルブ工業株式会社では、主に愛知県内の大学や高校の学生・生徒を対象に無償講演を行っております。(遠方の場合はご相談させていただきます)

就職活動・キャリアデザイン・企業像などを分かりやすく説明し、将来の社会人像を築いて頂きます。講師は取締役業務管理部長の前田崇統です。

前田が発明した「ごきげんようのサイコロ論」「写真から見つける企業論」を始め、「既成概念&流れに巻き込まれない考え方」「中小企業ブランディング&学生目線の中小企業の見つけ方」「実践的！企業側から見た面接」などユーモアにあふれた講演を行っています。

必要に応じて、期待する内容などお気軽にご相談ください。

TEL 052-618-3800 業務管理部



》 メディア掲載



日本水道新聞社 ほぼ全管種に対応 異種管接合&補修継手 ユニバーサルジョイント

→2023年2月9日(木)

『前田バルブ工業は、呼び径10~50の給水管においてほぼ全ての管種に対応する異種管接合継手「ユニバーサルジョイント」~』



テレQ 株式会社TVQ九州放送 巨額2度目の火災から3週間 初期消火で 注目される設備「スプリンクラー」

→2022年8月31日(水)

『大規模火災の発生から31日で3週間。改めて見直されているのは初期消火の重要性。今回ふくサテではある設備に注目~』



建築防災 2022.6 住宅用スプリンクラーの普及に向けて

→2022年6月

『1.はじめに まず、「住宅火災による死者」について触れておくと、令和2年版までの消防白書では、住宅用火災警報器（以下、住警器）の普及効果もあって～』



Instagram リクルートアカウント 代表取締役副社長 前田崇統 特集

→2021年2月20, 22, 24日

『Episode.1《現在》「会社について」
当社は、昭和21年6月に、前身となる前田パルプ工業所を設立し、～』



管材新聞 住宅用スプリンクラーシステム 耐震性 検証で評価

→2020年2月5日（水）

『前田パルプ工業は住宅用スプリンクラーシステムの耐震評価試験が昨年末、茨城県つくば市の防災科学技術研究所で行われた。名古屋大学、北海道大学を中心とした～』



時局 高い品質の給水装置で安全な飲み水を供給

→2018年9月号

『当社は生活に欠かせない水をご家庭にお届けするための水道用ハルフ、継手のほか防災設備・消防設備の製造販売を手掛けています。2008年には愛知県の優れたモノづくり企業に～』



ジモ採る 名大社 「新卒採用企画力で他社との差別化・存在感をアピール」

→2017年4月27日（木）

『採用において大手企業に埋もれないための施策が求められる中小企業。自社にマッチした採用方法を見つけるためには～』



日本水道新聞
ミャンマー市場へ布石 ザガイン市と友好協定
 →2017年3月23日(金)

『前田バルブ工業はミャンマー中部に位置する中都市ザガイン市とパートナーシップ協定を締結し、同市の発展を支える水道分野への資材供給や給水装置関連の技術協力などを通じて～』



中部経済新聞
住宅用スプリンクラー拡販

→2015年9月9日(水)

『水道に直結小型タイプ 手軽に導入可能。高価なポンプやタンクを必要としない水道直結型スプリンクラーを製造しグループホーム向けに拡販してきた～』



**バルブの製造工程など、
 中高生が工場見学バスツアー**

→2015年2月4日(水) 商経 管材新聞

『前田バルブ工業は1月17日地元の中高生を対象に工場見学を開催した。中日アドレップ主催の「親子で行く!社会見学バスツアー」の見学先の1つとして～』



日本経済新聞
熟練の日本製、輸出攻勢

→2013年9月25日(水) 朝刊東海版

『安倍政権の経済政策「アベノミクス」を背景にした円安で輸出環境は好転している。積極的な財政出動で公共事業も拡大しており内需も刺激する。ただ屋簷みの～』
 前田バルブ工業に関する記事は終盤に掲載されています。



書籍「中小企業の環境経営」に当社の環境活動を執筆いただきました

→2010年3月31日 第1刷発行
 パートナーシップ・サポートセンター

『15社の環境活動事例の掲載。当社の「家族をも巻き込む独自のエコポイント制度」をユニークに執筆して頂きました。』

東海テレビ放送 素敵にTALK Ⅲ 環境立国への交響曲



→2008年9月7日（日）14日（日）21日（日）

『番組の趣旨は、音楽家であり、環境問題への取り組みが、その活動の一端をPRするものです。～』



企業の課外活動 社員、家族一丸で資源回収

→2008年7月12日 中部経済新聞

『社内で毎月行われているエコイベントや資源回収運動の対価として従業員に発行しているのがMVKエコポイントだ。例えば家庭から出るアルミ缶や古着、書き損じハガキの回収など、環境問題への取り組みを～』



世界へ情報発信する先導的役割を 国内外へモノづくり力をアピール

→2008年2月28日 中部経済新聞

『「愛知ブランド」の認定も五年目に向かえ、節目の年にふさわしく昨年の三十社近くを上回る六十八社からの応募があり、この業に対する認知度の広まりと期待の大きさを実感することができた。従来と同様に…』



前田バルブなどが受賞 第1回名古屋市エコ事業所表彰

→2008年2月27日 商経 管材新聞

『環境に配慮した事業活動への転換を促進するため、「エコ事業所」制度を平成十三年度から導入している名古屋市では、このほくと第1回名古屋市エコ事業所優秀賞と特別賞の受賞企業を決定し七日、名古屋市中区の…』



49社、あす認定式 本年度の愛知ブランド企業

→2008年2月4日 中日新聞

『県が県内の優れたモノづくり企業として認定を進めている「愛知ブランド企業」の本年度分49社が決まった。この認定は、県内製造業の実力を国内外にアピールし、愛知のモノづくりを世界のブランド…』



ばるぶくろうくん

MAEDA VALVE